

平成24年度

「事務事業の外部評価」

日時：平成24年9月14日（金） 9：50～17：15

平成24年9月15日（土） 9：50～17：30

会場：田川市役所 1階 大会議室

福岡県田川市

目次

◆	傍聴される皆様へ《お願い事項》	P 1
◇	タイムスケジュール	P 2
◆	外部評価者(田川市経営評価改革推進委員会経営評価小委員会)名簿	P 3
◇	「事務事業の外部評価」について	P 4
◆	評価シート	P 5
◇	対象事業選定方法	P 6
◆	事務事業シートの見かた	P 7
◇	事務事業シート(表紙)	P 11
1	国土調査(地籍調査)事業	P 12
2	図書館維持管理事業、田川市立図書館運営事業	P 20
3	広報事業、シティプロモーション事業	P 28
4	世界記憶遺産活用・PR事業	P 38
5	0歳期教育親子教室事業、家庭教育講座事業	P 50
6	地域子育て支援事業	P 64
7	老人農園事業、シルバー趣味の教室事業、バスハイク事業	P 72
8	商店街振興対策事業	P 86
9	農商工等連携支援事業、農商工連携新産業創出事業	P 96
10	ものづくり企業育成支援事業、産学官連携人材育成事業、 新産業創出支援事業	P 108
11	地域人材、外部人材活用事業	P 122
12	公園施設維持管理事業	P 126

◆ 傍聴される皆様へ

本市は、「長期にわたる本市の安定的な発展・繁栄に寄与する」ことを目的とし、市が実施する事務事業などの効果を検証するとともに課題を明らかにする「行政評価制度」に平成21年度から取り組んできました。

また昨年度(平成23年度)は、非営利のシンクタンク「構想日本」の支援を受け、「事業仕分け」の手法を取り入れた「外部評価」に初めて取り組みました。

そして今年度(平成24年度)は、第5次総合計画の進捗状況を評価する「施策評価」と、施策を構成する事務事業を評価する「事務事業評価」を組み合わせることで行政評価の機能向上を図ることとし、また、平成24年7月に発足した「田川市経営評価改革推進委員会」による「外部評価」に引続き取り組むこととしました。

本市では、今回の評価結果を受け、必要な見直しや改善を図るとともに組織風土の改善を図ることなどにより、市民の皆様の満足度向上に向け、より一層の行財政改革、市民サービスの向上に努めてまいります。

※本日の「事務事業の外部評価」結果が本市の最終決定となるものではありません。
今後の方針決定を行う際の参考とさせていただくものです。

《 お願い事項 》

- ・ 評価に際して、傍聴の皆様からのご質問やご意見などについては、受け付けておりませんのであらかじめご了承ください。
- ・ 会場内に傍聴者の意思を表示するもの(プラカードや横断幕など)の持ち込みはご遠慮願います。また、外部評価者と職員との質疑や議論に公然と批評を加えたり、拍手などの方法での意思の表明はご遠慮願います。
- ・ 会場内への入退場、座席は、自由となっておりますが、事業の説明や質疑など、議論の最中の移動は、議論の妨げにならないようにお願いします。
- ・ 携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切り願います。
- ・ 会場内での飲食、喫煙はご遠慮願います。
- ・ 報道関係者による撮影などが行われる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ その他、会場内の秩序を乱して評価作業の支障になるような行為はご遠慮願います。

◇ タイムスケジュール

※時間は目安です。進行の都合により前後する可能性があります。

● 平成24年9月14日(金) 【6セット 9事業】

	予定時間	事務事業名	担当課係
	9:50 ~ 10:00	開会式[事業概要、注意事項等説明]	
1	10:00 ~ 11:00	国土調査(地籍調査)事業	土木課 国土調査室
2	11:00 ~ 12:00	図書館維持管理事業 ----- 田川市立図書館運営事業	文化課 文化係
	12:00 ~ 13:00	昼休み(60分)	
3	13:00 ~ 14:00	広報事業 ----- シティプロモーション事業	総合政策課 政策推進係
4	14:00 ~ 15:00	世界記憶遺産活用・PR事業	世界記憶遺産推進室
	15:00 ~ 15:15	休憩(15分)	
5	15:15 ~ 16:15	〇歳期教育親子教室事業 ----- 家庭教育講座事業	生涯学習課 学習振興・人権教育係
6	16:15 ~ 17:15	地域子育て支援事業	子育て支援課 子育て支援係

● 平成24年9月15日(土) 【6セット 11事業】

	予定時間	事務事業名	担当課係
	9:50 ~ 10:00	[事業概要、注意事項等説明]	
7	10:00 ~ 11:00	老人農園事業 ----- シルバー趣味の教室事業 ----- バスハイク事業	健康福祉課 高齢介護係
8	11:00 ~ 12:00	商店街振興対策事業	商工観光課 商工振興係
	12:00 ~ 13:00	昼休み(60分)	
9	13:00 ~ 14:00	農商工等連携支援事業 ----- 農商工連携新産業創出事業	企業・雇用対策課 企業誘致育成係 ----- 農政課 農業振興係
10	14:00 ~ 15:00	ものづくり企業育成支援事業 ----- 産学官連携人材育成事業 ----- 新産業創出支援事業	企業・雇用対策課 企業誘致育成係
	15:00 ~ 15:15	休憩(15分)	
11	15:15 ~ 16:15	地域人材、外部人材活用事業	学校教育課 学校教育係
12	16:15 ~ 17:15	公園施設維持管理事業	都市計画課 緑化・公園係
	17:15 ~ 17:30	閉会式	

◆外部評価者(田川市経営評価改革推進委員会経営評価小委員会)名簿

区分	氏名	所属	経営評価小委員会における役職
		主な行政関係経歴	
コーディネーター (調整役)	南 博	北九州市立大学 都市政策研究所准教授	小委員長
		田川市行政改革推進委員会委員 田川市外部評価(事業仕分け)評価者 (仕分け人)	
評価者	児島 孝司	田川市区長会 常務理事	委員
		田川市第5次総合計画策定審議会委員	
評価者	佐藤 元治	公認会計士	委員
		田川市外部評価(事業仕分け)評価者 (仕分け人) 田川市立病院経営改善推進委員会委員	
評価者	嶋津 亮彦	田川青年会議所 元理事長	委員
		田川市第5次総合計画策定審議会委員	
評価者	田代 英美	福岡県立大学 人間社会学部准教授	委員
		田川市地域公共交通会議委員 直方市都市計画審議会委員	
評価者	堀江 昭美	たがわ21女性会議 元会長	委員
		田川市行政改革推進委員会委員 田川市第5次総合計画まちづくりワークショップ委員	

◇ 「事務事業の外部評価」について

1. 「事務事業の外部評価」が目指す効果

今回の「事務事業の外部評価」においては、「外部の視点による、本市の情勢を大局的に捉えたうえでの提言」を重視することとしており、それにより、

- 市民サービスの向上
- 田川市第5次総合計画の実行性および実効性向上
- 事業の再構築や手法の効率化に伴う事業費の削減
- 「論理的思考能力の向上」「説明能力向上」など職員のスキルアップ

等々の効果の発生により、最小コストで高品質の住民サービスを提供できる、開かれた行政経営手法の確立を目指しています。

2. 「事務事業の外部評価」のながれ

○事業説明 10分程度

事業の説明者は、「事務事業シート(概要説明書)」および補足資料に基づき、事業の要点や補足事項を簡潔に説明します。

○質疑・議論 20分程度

外部評価者から事業の説明者に対して事業の内容について質問を行い、事業のあり方について議論を行います。

○評価 5分程度

外部評価者が、評価シート(次ページ)に評価結果、提言内容およびその他のコメントを記入します。

○コメント発表 20分程度

記入後の評価シートに基づき、外部評価者が評価結果および市への提言内容などを発表します。

3. 評価結果について

今回の評価結果については、事務事業の担当課において検討を行い、田川市行政改革推進本部等において調整のうえ、市の対応方針を決定します。

その際は、平成25年度当初予算への反映を目処とし、調整等が完了した時点で実施内容や予算等へ反映させるものとします。

なお、今回の評価結果や市の対応方針等については、市のホームページなどで公表します。

◆ 評価シート

番号	1	事業名		評価者氏名	
評価欄(該当箇所すべてに「○」)					
現在の事業					
1 拡 充			(1) 対象の拡大 (2) 事業の手法、内容の拡充 (3) 事業費の拡充 (4) その他		
2 見 直 し			(1) 事業の一部廃止 (2) 事業内容、手法の見直し ① 民間委託実施・拡大 ② 指定管理者制度の導入 ③ 自主財源確保(受益者負担等) ④ 対象の見直し ⑤ 手段の追加、改善 ⑥ 設定目標の見直し ⑦ 実施期間の短縮 ⑧ その他		
3 廃 止			(1) 手段が目的化している (2) 達成手段として不適當 (3) 効果なし(薄い)・逆効果 (4) サービス受給者の自助努力・自己負担 (5) 行政の役割終了、民間実施 (6) その他		
			提 言 内 容		
			そ の 他 コ メ ン ト		

◇ 対象事業選定方法

1 平成23年度に実施したすべての事務事業	439事業
・H23年度において終了した事業は除く	

2 「施策の外部評価」において、各評価者が対象候補とした事業	96事業
・内部管理事務や形式的に受付、交付するものなどの行政目的がない定型事務は除く	

※(内訳)第5次総合計画における目標体系別の候補事業数	
第1章 自然豊かで安全・快適に暮らせる美しいまちづくり(都市づくり)	20事業
第2章 環境にやさしく魅力あふれる産業を育むまちづくり(産業・経済)	18事業
第3章 互いに支えあい誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり(医療・福祉)	25事業
第4章 郷土を愛し豊かな心と創造力を育むまちづくり(教育・文化)	24事業
第5章 期待と信頼に応え市民と共に歩む「さわやか」なまちづくり(行財政運営)	9事業

3 対象候補とした事業を経営評価小委員会小委員長および事務局で最終調整	12項目20事業
・昨年度開催の「外部評価(事業仕分け)」対象事業は除く	

※(内訳)第5次総合計画における目標体系別選定事業数および選定事業名			
第1章 自然豊かで安全・快適に暮らせる美しいまちづくり(都市づくり)			2項目2事業
事業名	国土調査(地籍調査)事業	担当課	土木課国土調査室
事業名	公園施設維持管理事業	担当課	都市計画課
第2章 環境にやさしく魅力あふれる産業を育むまちづくり(産業・経済)			3項目6事業
事業名	農商工等連携支援事業	担当課	企業・雇用対策課
	農商工連携新産業創出事業	担当課	
事業名	商店街振興対策事業	担当課	商工観光課
事業名	ものづくり企業育成支援事業	担当課	企業・雇用対策課
	産学官連携人材育成事業	担当課	
	新産業創出支援事業	担当課	
第3章 互いに支えあい誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり(医療・福祉)			2項目4事業
事業名	地域子育て支援事業	担当課	子育て支援課
事業名	老人農園事業	担当課	健康福祉課
	シルバー趣味の教室事業		
	バスハイク事業		
第4章 郷土を愛し豊かな心と創造力を育むまちづくり(教育・文化)			4項目6事業
事業名	地域人材、外部人材活用事業	担当課	学校教育課
事業名	図書館維持管理事業	担当課	文化課
	田川市立図書館運営事業		
事業名	0歳期教育親子教室事業	担当課	生涯学習課
	家庭教育講座事業		
事業名	世界記憶遺産活用・PR事業	担当課	世界記憶遺産推進室
第5章 期待と信頼に応え市民と共に歩む「さわやか」なまちづくり(行財政運営)			1項目2事業
事業名	広報事業	担当課	総合政策課
	シティプロモーション事業		

◆ 事務事業シートの見かた

※総合計画経費以外の事業(図書館維持管理事業・田川市立図書館運営事業(P20)および公園施設維持管理事業(P124))の事務事業シートについては、本様式を簡素化していますが、記載している内容は、以下のシートを踏まえたものとしています。

事業番号

平成24年度

事務事業シート (概要説明書)

事務事業名		事務事業の名称です	経費区分	市の予算区分上の経費の別により記載しています		
上位施策等	基本目標No	この事務事業が、第5次総合計画上のどの分野において、どういったことを目的としているかを記載しています	事業開始年度	事務事業を開始した年度です		
	政策No		事務区分	法令の定めにより、市が行う「法定受託事務」とそれ以外の「自治事務」の別を記載しています		
	基本施策No			担当部名	対象事務事業の担当部の名称です	
	主要施策No				担当課・係名	対象事務事業の担当課・係の名称です
根拠法令		実施の根拠となる法令、条例等を記載しています				
事業概要	事業の必要性・実施の背景	この事務事業が何故必要なのかについて、その理由、根拠を開始当時や現状における時代背景やニーズの状況等をふまえて記載しています				
	目的(何をどうするために)	この事務事業の目的(ねらい)について、「何をどうするために」という観点で記載しています				
	目標(何がどうなれば達成か)	この事務事業の平成22年度中における目標(目ざす数値)について、「何かどうなれば達成か」という観点で記載しています				
	対象(誰・何を対象に)	「誰、何に対して事務事業を行っているのか」、また、この事務事業を行うことで、「誰、何に対して影響が現れるのか」という観点で記載しています	<table border="1"> <tr> <td>対象者数 (全住民に対する割合)</td> </tr> <tr> <td>対象者の数および全住民に対する割合を記載しています</td> </tr> </table>		対象者数 (全住民に対する割合)	対象者の数および全住民に対する割合を記載しています
	対象者数 (全住民に対する割合)					
	対象者の数および全住民に対する割合を記載しています					
	実施方法	市が直接行っている場合は、「直接実施」にチェックを記載しています				
業務そのものを民間事業者等に委託している場合は「業務委託」、公の施設の管理を民間事業者等に委託している場合は「指定管理」にチェックを記載しています						
業務目的の達成のために団体等に対する補助を行っている場合は、直接・間接の別で「補助金」にチェックを記載しています						
業務目的の達成のために団体等に貸付を行っている場合は「貸付」、前述以外の実施方法の場合は「その他」にチェックを記載しています						
事業内容(手段、手法など)	どのような手段、手法により、事業を行っているのかについて記載しています					
※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載						
関連事業(同一目的事業等)	この事務事業に関連して市が行っている事務事業がある場合、その事務事業の名称等を記載しています					

◆ 事務事業シート(総合計画経費事業用)の見かた

事業番号

平成24年度

事務事業シート (概要説明書)

事務事業名		事務事業の名称です	経費区分	市の予算区分上の経費の別により記載しています			
コスト	事業費	24年度 (予算)	23年度 (決算)	22年度 (決算)	21年度 (決算)		
		報酬	次の区分により、H21～23年度決算、H24年度予算額を記載しています 「報酬」・・・各種審議会委員への報酬等 「委託料」・・・民間事業者等に業務委託している場合の委託費用 「需用費」・・・消耗品費、印刷費、修繕費、燃料費、高熱水費、食糧費など 「役務費」・・・通信費、保険料、手数料、広告料等 「その他」・・・上記に含まれない給料、旅費、備品購入費、負担金、扶助費など 「 事業費合計 」・・・上記の合計額です				
		委託料					
		需用費					
		役務費					
		その他					
	事業費合計						
	人件費	正規職員	「どの程度、その事務事業に従事していたか」といった「 従事時間 」に基づく人員数を記載し、職員の区分ごとの「給与に社会保険料などを加えた概ねの平均額」を基礎とした人件費のH21～23年度決算、H24年度予算額を記載しています (各区分ごとの概ねの平均額) 「正規職員」・・・8,000千円、「再任用職員」・・・3,500千円、 「臨時職員」・・・1,800千円、「嘱託職員」・・・2,000千円 「 人件費合計 」・・・上記の合計額です				
		再任用職員					
		臨時職員					
嘱託職員							
人件費合計							
総事業費	事業費合計と人件費合計の合計額を記載しています						
財源内訳	国県支出金	上記「 総事業費 」にかかる財源についてのH21～23年度決算、H24年度予算額を記載しています 「国県支出金」・・・使い道が決められた国や県から交付されるお金 「基金」・・・目的達成のために積み立てなどによって準備されたお金 「その他特財」・・・施設の利用率や交付手数料等、サービスを受ける人からのお金など 「一般財源」・・・市が自ら準備したお金					
	基金						
	その他特財						
	一般財源						
	財源合計						
事業実績	活動実績	【活動指標名】	単位	H23年度	H22年度	H21年度	
		「実際にどのような活動を行ったのか」にかかるH21～23年度の目標値および実績値を記載しています					
事業成果	成果実績 (事業目標達成状況)	【成果指標名】	単位	H23年度	H22年度	H21年度	
		「活動の結果、どのような成果が認められたのか、目標が達成できたか」にかかるH21～23年度の目標値および実績値、「成果指標を設定した理由」などについて記載しています					
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		活動実績や成果実績などに基づき、今後における取組みの方向性、コストや成果をどのようにしたいのかについて記載しています					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		「他の自治体においても類似事業が行われているか」「他の自治体においては、どのような業務量、成果となっているか」などについて記載しています					
特記事項 (事業の沿革等)		事務事業の手法や予算などにかかる過去からの変遷や経緯など、その事務事業について、特に明記すべきことを記載しています					

◆ 事務事業シート(総合計画経費事業用)の見かた

事業番号

平成24年度

事務事業シート(概要説明書)

事務事業名	事務事業の名称です	経費区分	市の予算区分上の経費の別により記載しています
-------	-----------	------	------------------------

○担当課による個別評価

公共関与の必要性		評価の理由
5	市が行うべき(法令義務付け)	事務事業の担当課が、その事業についての「市が行う必要があるか」「民間が行うべき事業ではないか」などを考慮したうえで、左のいずれかを選択し、その理由を記載しています
4	市が行うべき(民間では困難)	
3	市が行うべき(民間も可能だが公共性高い)	
2	民間でも可能	
1	民間で行った方が良い	
市民・時代のニーズ		評価の理由
5	高い	事務事業の担当課が、その事業についての「市民や時代のニーズがあるか」「既に目的を達成しているのではないか」などを考慮したうえで、左のいずれかを選択し、その理由を記載しています
4	やや高い	
3	普通	
2	やや低い	
1	低い	
事業目的の必要性、優先度から見たコスト		評価の理由
5	事務事業に掛かるコストは 低い	事務事業の担当課が、その事業についての「必要性や優先度を踏まえたコスト」について、左のいずれかを選択し、その理由を記載しています
4	事務事業に掛かるコストは やや低い	
3	事務事業に掛かるコストは 妥当	
2	事務事業に掛かるコストは やや高い	
1	事務事業に掛かるコストは 高い	
事業目的達成のための手段の最適性		評価の理由
5	最適な手段である	事務事業の担当課が、その事業についての「目的を達成するための手段は適切しているか」について、左のいずれかを選択し、その理由を記載しています
4	概ね適切な手段である	
3	どちらとも言えない	
2	あまり適切な手段ではない	
1	不適切な手段である	
施策への寄与度		評価の理由
5	施策の達成に中心的な役割を担う	事務事業の担当課が、その事業についての「第5次総合計画に掲げる施策の達成にかかる寄与度」について、左のいずれかを選択し、その理由を記載しています
4	施策の達成に相当の役割を担う	
3	施策の達成にある程度の役割を担う	
2	施策の達成に必ずしも寄与しない	
1	施策の達成に全く寄与しない	
事業効果		評価の理由
5	市民全般に及ぶ	事務事業の担当課が、その事業についての「対象となる市民の割合、規模」について、左のいずれかを選択し、その理由を記載しています
4	かなりの程度の市民に及ぶ	
3	一部の市民に及ぶ	
2	特定の市民に及ぶ	
1	効果は市民に及ばない	
集計結果		<div style="text-align: center;"> <p>公共関与の必要性</p> <p>事業効果</p> <p>市民・時代のニーズ</p> <p>事業目的の必要性、優先度から見たコスト</p> <p>施策への寄与度</p> <p>事業目的達成のための手段の最適性</p> <p>計 0 点</p> </div>
0 /5	公共関与の必要性	
0 /5	市民・時代のニーズ	
0 /5	事業目的の必要性、優先度から見たコスト	
0 /5	事業目的達成のための手段の最適性	
0 /5	施策への寄与度	
0 /5	事業効果	
0 /30	合計	

今後における成果および経費の見通し

		コストの方向性		
		減少	維持	増加
成果の方向性	向上			
	維持			
	減少			

左の理由
事務事業の担当課が、今後における成果と経費のバランスをどのようにしたいのかについて、左の9項目から選択し、その理由を記載しています

◆ 事務事業シート(総合計画経費事業用)の見かた

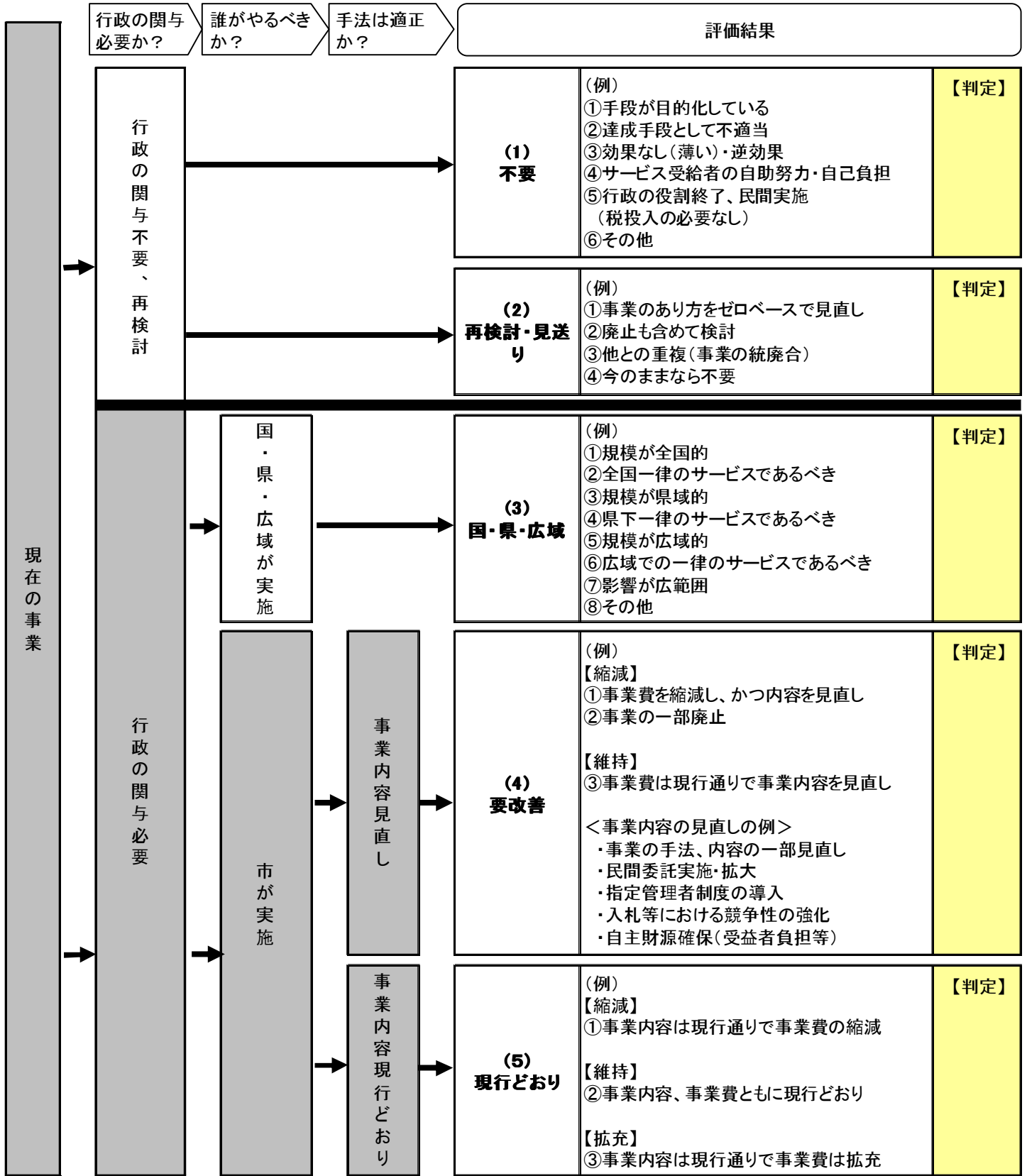
事業番号

平成24年度

事務事業シート(概要説明書)

事務事業名	事務事業の名称です	経費区分	市の予算区分上の経費の別により記載しています
--------------	-----------	-------------	------------------------

○担当課による「事業仕分け」



特記事項(選択の理由、改善内容、その他意見等)

事務事業の担当課が、今後における事務事業の方向性について、「不要」、「再検討・見送り」、「国・県・広域」、「要改善」、「現行どおり」の中から選択し、その理由を記載しています